

平成26年度 第2回学校評議員会記録

日時：12月19日（木）18:00～

1. 学校長あいさつ

2. 学校の主だった内容

(1) 音楽会

(2) 学年より行事について

2年：町まちたんけん

3年：環境体験学習

5年：自然学校

(3) 安心・安全な学校

3. 評議員の方からのご意見

参加評議員

大岡 記代 様
三浦 修 様
岡崎 よし子様
永井 幸男 様
角子 美晴 様
柏木 由紀 様

《学校長あいさつ》

《音楽会》淡路・小池より

今年度は、運動会が1学期にあり、自然学校が音楽会練習期間中で、代休を含めて1週間練習が抜けるので、例年より1週間長い7週間もの間、子供たちは頑張ってきました。

まず、5月に学年の先生と選曲をしました。今年は、少し期間を長く練習できるので、高学年は難しい曲に挑戦してもらおうということになりました。6月には、1年生から6年生までの音楽の担当の先生に集ってもらい、全体の選曲やバランスなどを話し合いました。6月の中旬頃には5・6年生、下旬頃には3・4年生の楽器決めが始まります。本校は、人数が多いので続けて同じグループの楽器を選ばないようにしています。但し、希望者がいなかった場合は、続けてしている時もあります。5年生は自然学校へ行くまでの間にほとんど出来ている状態にするために、頑張りました。6年生は、合奏が好きな子供たちなので、かっこよく6年生らしく、ビシッと決まる曲を選曲しました。6

年生にもなると、最後ということで練習に熱心で、夏休みにも頑張っていました。

さいごに、選曲や楽器決めについては、いろいろなご意見があるかと思いますが、子供たちは、楽器や曲が決まると、とても頑張って練習しているので、ぜひ、ご家庭でも応援をしてあげて欲しいと思います。保護者アンケートでは多数の方が、座席取りのことを書かれていました。毎年、前の方に並んでおられた方が、たくさんの席を取られて、後ろに並んでいた人が合流して前の席に座られています。教師が見回っていますが、前に立つ教師の人数が足りないのが現状です。来年度からは、子供たちの係からも前に立ってもらい、PTAの役員の方にもお手伝い頂きたいと思っています。ご協力よろしくお願い致します。

《2年 町たんけん》平山より

2年生が、11月に実施した「町たんけん」は、地域と、その人々に親しみをもち、自分たちが地域で安全に楽しく過ごすことができるようになるということをめあてにした生活科の学習です。6コースの場所へ行き、その道中の発見や、そこで働いている人にインタビューをしました。6コースは、脇の花農家、池上のJA、池上の伊川谷出張所、上脇のコープデイズ、上脇の惣社、南別府の野菜農家です。子供たちには、コースを選ぶ際、自分が住んでいない地区に行くように勧めました。

町たんけんの概要としては、まず、11月13日にプレ町探検がありました。これは、教師引率の元、自分が調べたい場所へ行き、そこで働いている人の話を聞きます。ここで聞いた話を元に、本番の町探検のためにインタビューする内容を考えます。その1週間後の21日が、町たんけん本番です。子供たちはプレ町探検の時の道のりを頼りに自分たちで目的地へ行きました。

町たんけん本番は、子供たちがグループで目的地まで行きます。その際、子供たちの安全のため

に、保護者の方に後ろから見守っていただき、見守り隊としてご協力していただきました。まず、町たんけんを実施するにあたり2年生の保護者の方々にご協力いただくための募集をかけました。保護者の方には、1グループに1人もしくは2人ついていただき、子供たちは安全に探検することができました。

子供たちは、自分が調べたことについて、学校に戻ってきてから、新聞にまとめたり、クイズ形式にしたりして、訪れていない場所について、ほかの子供たちが分かるように発表の場を持ちました。

今回の町たんけんでは、多くの保護者の方々にご協力いただき、感謝しております。参加していただいた保護者の方々からは、音楽会や運動会、授業参観などとは違った子供たちの姿が見られてよかったという感想をいただきました。

この町たんけんを通して、住宅、お店、お寺、田畑など伊川谷のいろいろな町の様子を見ることができました。伊川谷のよさを知って、地域を大事にする子供たちに育てていけたらと思います。

《3年 環境体験学習》守谷より

まず、1学期には、水辺ネットワークの安井さんと市川さんに来校いただき、伊川の地形や生き物、外来種などについて、映像を見ながら学習しました。そして、子供たちは、伊川に興味関心を持つことができました。次に、水辺ネットワークから6名、伊川を愛する会から3名の計9名にご協力いただき、200人の子供たちが伊川に入り、伊川の生き物を観察し、採取しました。子供たちは、実際に伊川に入ることで、自分の五感で伊川を知ることができました。新しい発見や驚きがあり、伊川をより身近な川として感じることができました。地域の方々のサポートがなければ行えない、貴重な体験をすることができました。そして、伊川の地域行事「リバーフェスタ」に22名の児童が参加し、学習した伊川について発表しました。

地域行事に参加することで、地域の一員であるということを実感し、伊川環境を守っていかねばという責任感が芽生えていました。

2学期には、三浦さんや農協の方のご協力の元、パンジーの苗を堂の前公園に植えました。伊川のパンジーが有名であることを知り、伊川の町をみんなでも美しくしようという気持ちが増していました。そして、自分たちにも伊川の町のためにできることがあることを実感することができました。

3学期には、伊川谷音頭の会のみなさんにご協力いただき、伊川に続く伊川谷音頭を教えてくださいます。伊川の伝統を知り、伊川の一員であることを自覚し、これからも伝統を引き継ぎ、次世代へ引き継ぐ役割を自分たちが担っていくことに気づいて欲しいと思っています。

地域の方々のご協力に大変感謝しております。

《5年 自然学校》正井より

今年度は、運動会が春の実施になったため、自然学校が秋の実施になりました。春の実施に比べて、準備がしっかりととれたように思います。

今回は、子供たちの考えた「みんなで協力 みんなで成長 助け合い 絆を深め 笑顔が輝く自然学校」をめあてとして取り組みました。

4泊5日と子供たちにとっては、長期宿泊でしたが、自分のすべきことや、友達との関わり、集団行動のとおり方等、目覚ましい成長が見られたと思います。

この「自然学校」を通して、5年生の子供たちが何か一つでも成長の手応えを感じ、今後の学校生活に生かそうとしてくれることを信じています。保護者の皆様のご協力に心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

《安心・安全な学校》高橋より

防犯ネットでは、毎日、不審者情報が入ってきています。本校の児童は、巻き込まれてはいませんが、いつ何が起こるか分かりません。そのため、

9月からパトロールを強化しています。日頃から行っていたパトロールに加えて、頻りに校区内を見回っています。また、不審者対応の研修を実施しました。さらに、臨機応変に対応できるよう訓練の実施を考えています。

最近では、LINEでのトラブルが増加しています。様々なグループが作られており、メンバーも多くなり、利用している自分自身が、どのグループでコメントしているのか理解しきれていないこともあるようです。また、誹謗中傷により、友人関係が大きく崩れて長期化することもあります。大人から見えなところでの人間関係でも、何かあれば寄り添い、学校、家庭、地域の大人のまなざしで子供たちを見守っていくことが大切だと考えます。

《評議員の方からのご意見》

評議員の方々、貴重なご意見ありがとうございました。

